

2009年 9 月27日 実施

平成21年度（第41回）
情報処理検定試験
〈ビジネス情報部門〉
第2級 筆記試験問題

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は4ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

【5】 次の表は、ある農家における1年間の作物収穫量に関する表である。処理条件にしたがって、次の各問いの答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	作物収穫量一覧表								
2	作物収穫量一覧表								
3	作物収穫量一覧表								
4	作物コード	作物名	分類	予定収穫量 (kg)	実際収穫量 (kg)	達成率	評価	出荷袋・箱数	備考
5	KM01-30	大豆	穀物	1,800	1,535	85.2%	B	51	※
6	KM02-30	小豆	穀物	500	430	86.0%	B	14	※
7	KM03-10	いんげん豆	穀物	150	223	148.6%	A	22	※
8	KS01-10	だいこん	根菜	300	215	71.6%	C	21	※
9	KS02-10	にんじん	根菜	300	302	100.6%	A	30	※
10	KS03-10	じゃがいも	根菜	400	336	84.0%	B	33	※
11	KS04-10	たまねぎ	根菜	200	151	75.5%	C	15	※
12	CS01-05	なす	果菜	300	257	85.6%	B	51	※
13	CS02-05	ピーマン	果菜	150	146	97.3%	A	29	※
14	CS03-10	きゅうり	果菜	400	387	96.7%	A	38	※
15	CS04-10	トマト	果菜	280	300	107.1%	A	30	※
16									
17	分類別集計表				評価別集計表				
18	分類コード	分類	予定収穫量計	実際収穫量計	評価	件数			
19	KM	穀物	2,450	2,188	A	5			
20	KS	根菜	1,200	1,004	B	4			
21	CS	果菜	1,130	1,090	C	2			

(注) ※印は、値の表記を省略している。

処理条件

- A列の「作物コード」の左端から2けたは、分類別集計表の「分類コード」を、右端から2けたは、出荷する際に1袋または1箱あたりの単位(kg)を示している。
- C列の「分類」は「作物コード」の左端から2文字を抽出し、分類別集計表を参照して表示する。
- F列の「達成率」は、「**実際収穫量(kg)** ÷ **予定収穫量(kg)**」の式で求める。ただし、小数第3位未満を切り捨て、%表示で小数第1位まで表示する。
- G列の「評価」は、「達成率」が90%以上の場合はA、80%以上90%未満の場合はB、80%未満の場合はCを表示する。
- H列の「出荷袋・箱数」は、A列の「作物コード」の右端から2文字を抽出し、1袋または1箱あたりの単位(kg)として、次の式で求める。ただし、小数点以下は切り捨て、整数部のみ表示する。
「**実際収穫量(kg)** ÷ **1袋または1箱あたりの単位(kg)**」
- I列の「備考」は、「評価」がAで、かつ「出荷袋・箱数」が30以上の場合は○を表示し、それ以外の場合は何も表示しない。
- 分類別集計表の「予定収穫量計」は、分類ごとに「予定収穫量(kg)」の合計を求める。
- 分類別集計表の「実際収穫量計」は、分類ごとに「実際収穫量(kg)」の合計を求める。
- 評価別集計表の「件数」は、評価ごとに件数を求める。

問1. C5に設定する式を答えなさい。

問2. G5に設定する式を答えなさい。

問3. I列に表示される○の数を答えなさい。

問4. D19に設定する式を答えなさい。

問5. H19に設定する式を答えなさい。

解答群

ア. =COUNTIF(\$G\$5:\$G\$15, G19)	イ. =COUNTA(\$G\$5:\$G\$15)
ウ. =IF(F5<=80%, "C", IF(F5<=90%, "A", "B"))	エ. =IF(F5>=90%, "A", IF(F5>=80%, "B", "C"))
オ. =IF(F5>=90%, "A", IF(F5<=80%, "B", "C"))	カ. 3
キ. 4	ク. 5
ケ. =DSUM(\$A\$4:\$I\$15, 4, B18:B19)	コ. =SUMIF(\$C\$5:\$C\$15, B19, \$E\$5:\$E\$15)
サ. =SUMIF(\$C\$5:\$C\$15, B19, \$D\$5:\$D\$15)	シ. =VLOOKUP(RIGHT(A5, 2), \$A\$19:\$B\$21, 2, FALSE)
ス. =VLOOKUP(LEFT(A5, 2), \$A\$19:\$B\$21, 2, FALSE)	セ. =VLOOKUP(LEFT(A5, 2), \$A\$19:\$B\$21, 1, FALSE)

(注) FALSEは0でも可。

【6】 ある動物園では、土・日曜日にガイドによるコース案内を次のようなリレーショナル型データベースを利用して管理している。各問いの答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

ガイド表

ガイドコード	ガイド名	経験年数
G01	飯田〇〇	13
G02	塚本〇〇	9
G03	永瀬〇〇	8
G04	松浦〇〇	10

案内バス表

バスコード	バス名	定員
B01	かびばら号	25
B02	しまうま号	30
B03	ぺんぎん号	25
B04	らいおん号	30

(人)

コース表

コースコード	コース名	所要時間	料金
C01	太陽コース	90	400
C02	はばたきコース	60	400
C03	森林コース	80	500
C04	氷雪コース	70	600
C05	草原コース	100	700
C06	ふれあいコース	60	1000

(分)

記録表

乗車番号	日付	コースコード	ガイドコード	バスコード	参加数
1	20090905	C01	G02	B01	15
2	20090905	C02	G01	B02	25
3	20090905	C03	G04	B03	20
4	20090906	C04	G03	B04	25
5	20090906	C05	G04	B01	25
6	20090906	C06	G01	B02	20
7	20090912	C01	G03	B03	25
8	20090912	C02	G04	B04	14
9	20090912	C03	G02	B01	23
10	20090913	C04	G03	B02	19
11	20090913	C05	G04	B03	15
12	20090913	C06	G02	B04	25
13	20090919	C01	G01	B01	25
14	20090919	C02	G02	B02	13
15	20090919	C03	G01	B03	18
16	20090920	C04	G03	B04	20
17	20090920	C05	G02	B01	20
18	20090920	C06	G04	B02	16

(注) 日付のデータ型は数値型である。

例：20090905 は2009年9月5日を表す。

問1. 次の(1)~(3)のSELECT文によって抽出されるデータを解答群から選び、記号で答えなさい。

- (1) SELECT ガイド名 FROM ガイド表 WHERE 経験年数 >= 10
 (2) SELECT コース名 FROM コース表 WHERE 所要時間 <= 70 AND 料金 <= 500
 (3) SELECT ガイド名, 所要時間 FROM ガイド表, コース表, 記録表
 WHERE ガイド表. ガイドコード = 記録表. ガイドコード
 AND コース表. コースコード = 記録表. コースコード
 AND 日付 = 20090919 AND 記録表. ガイドコード = 'G01'

解答群

ア.	<input type="text" value="飯田〇〇"/>	イ.	<input type="text" value="飯田〇〇"/> <input type="text" value="松浦〇〇"/>	ウ.	<input type="text" value="塚本〇〇"/> <input type="text" value="永瀬〇〇"/>	エ.	<input type="text" value="太陽コース"/> <input type="text" value="はばたきコース"/>	オ.	<input type="text" value="はばたきコース"/>
カ.	<input type="text" value="森林コース"/> <input type="text" value="氷雪コース"/> <input type="text" value="草原コース"/> <input type="text" value="ふれあいコース"/>	キ.	<input type="text" value="飯田〇〇"/> <input type="text" value="90"/> <input type="text" value="飯田〇〇"/> <input type="text" value="80"/>	ク.	<input type="text" value="飯田〇〇"/> <input type="text" value="100"/> <input type="text" value="飯田〇〇"/> <input type="text" value="60"/> <input type="text" value="飯田〇〇"/> <input type="text" value="90"/> <input type="text" value="飯田〇〇"/> <input type="text" value="80"/>	ケ.	<input type="text" value="飯田〇〇"/> <input type="text" value="13"/>		

問2. 上の表から、次のような新しい表（仮想表）を作成するためのSELECT文の空欄(1), (2)にあてはまる適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。

バス名	コース名	参加数
らいおん号	はばたきコース	14
しまうま号	はばたきコース	13

SELECT バス名, コース名, 参加数 FROM (1)
 WHERE 案内バス表. バスコード = 記録表. バスコード
 AND コース表. コースコード = 記録表. コースコード
 AND 定員 = 30 AND (2)

解答群

ア.	ガイド表, 案内バス表, コース表	イ.	ガイド表, 案内バス表, 記録表	ウ.	案内バス表, コース表, 記録表
エ.	ガイドコード = 'G04'	オ.	参加数 <= 15	カ.	所要時間 >= 80

(平成21年 9月27日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成21年度（第41回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 筆記

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

【4】	問1	問2	問3	問4	
				(1)	(2)

【5】	問1	問2	問3	問4	問5

【6】	問1			問2	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)

試験場校名	受験番号

得点合計

(平成21年 9月27日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成21年度（第41回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 筆記

審査基準

【1】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	コ	エ	ケ	イ	カ	

【2】	1	2	3	4	5	各3点 計15点
	イ	キ	コ	ク	ア	

【3】	1	2	3	4	5	各3点 計15点
	イ	ウ	ア	ア	ウ	

【4】	問1	問2	問3	問4		各4点 計20点
				(1)	(2)	
	ウ	ア	ウ	イ	ア	

【5】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	ス	エ	カ	コ	ア	

【6】	問1			問2		各4点 計20点
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	
	イ	オ	キ	ウ	オ	

試験場校名	受験番号

得点合計
100

2009年 9 月27日 実施

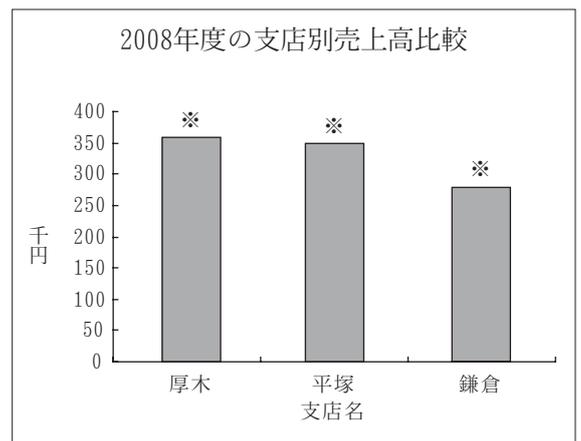
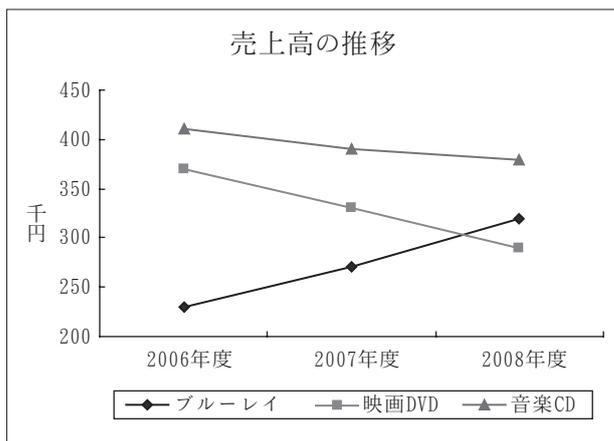
平成21年度（第41回）
情報処理検定試験
〈ビジネス情報部門〉
第2級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって、A 1のセルに受験番号を入力してください。
3. 試験問題は1ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は20分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって、1ページで印刷してください。

次の表は、あるレコード販売店の本社が支店からの報告をもとに作成した過去3年間の売上高報告一覧表である。処理条件にしたがって、表とグラフを作成しなさい。なお、A1のセルに受験番号が入力されているか確認しなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2	売上高報告一覧表							
3	単位：千円							
4	報告コード	種類	支店コード	支店名	2006年度	2007年度	2008年度	評価
5	BAT	ブルーレイ	AT	厚木	80	90	100	※
6	DAT	※	※	※	120	100	110	※
7	CAT	※	※	※	180	160	150	※
8	BHR	※	※	※	70	80	100	※
9	DHR	※	※	※	150	140	110	※
10	CHR	※	※	※	140	130	140	※
11	BKA	※	※	※	80	100	120	※
12	DKA	※	※	※	100	90	70	※
13	CKA	※	※	※	90	100	90	※
14								
15	種類別集計表							
16	種類コード	種類	2006年度	2007年度	2008年度			
17	B	ブルーレイ	230	270	320			
18	D	映画DVD	※	※	※			
19	C	音楽CD	※	※	※			
20								
21	支店別集計表							
22		支店コード	支店コード	支店コード				
23		AT	HR	KA				
24	支店名	厚木	平塚	鎌倉				
25	売上高合計	※	※	※				



処理条件

- 表の形式および体裁は、上の表を参考にして設定する。
設定する書式：罫線、列幅、数値につける3けたごとのコンマ
- 表の※印の部分は、式や関数などを利用して求める。
- B列の「種類」は、A列の「報告コード」の左端から1文字を抽出し、種類別集計表を参照して表示する。
- C列の「支店コード」は、A列の「報告コード」の右端から2文字を抽出して求める。
- D列の「支店名」は、C列の「支店コード」をもとに、支店別集計表を参照して表示する。
- H列の「評価」は、G列の「2008年度」がE列の「2006年度」以上で、かつF列の「2007年度」以上の場合は○を表示し、それ以外の場合は何も表示しない。
- 種類別集計表のC17～E19の種類別の売上高は、売上高報告一覧表より種類ごとに年度別で集計して求める。なお、売上高報告一覧表と同様に、単位は千円である。
- 支店別集計表の「売上高合計」は、支店名ごとに売上高報告一覧表より2008年度の売上高の合計を求める。なお、売上高報告一覧表と同様に、単位は千円である
- 折れ線グラフは、種類別集計表よりグラフ化する範囲を指定する。
 - グラフの数値軸目盛は、最小値(200)、最大値(450)および間隔(50)を設定する。
 - 軸ラベルの方向を設定する。
- 棒グラフは、支店別集計表よりグラフ化する範囲を指定する。
 - グラフの※印の部分は、表に入力された数値を表示する。
 - グラフの数値軸目盛は、最小値(0)、最大値(400)および間隔(50)を設定する。
 - 軸ラベルの方向を設定する。

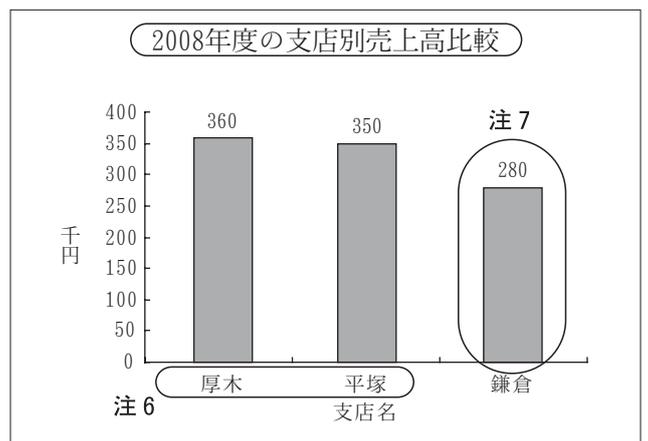
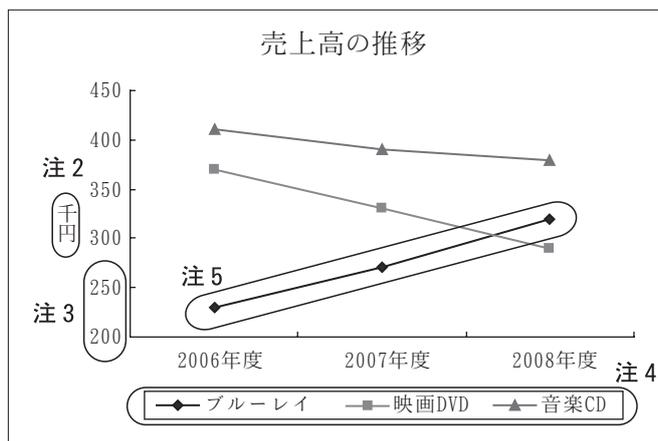
主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成21年度 (第41回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 実技
審査基準

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	(売上高報告一覧表)							
2	(売上高報告一覧表)							
3	単位：千円							
4	報告コード	種類	支店コード	支店名	2006年度	2007年度	2008年度	評価
5	BAT	ブルーレイ	AT	厚木	80	90	100	○
6	DAT	映画DVD	(AT)	厚木	120	100	110	
7	(CAT)	音楽CD	AT	厚木	180	160	150	
8	BHR	ブルーレイ	HR	平塚	70	80	100	○
9	DHR	映画DVD	HR	平塚	150	140	110	○
10	CHR	音楽CD	HR	平塚	140	130	140	○
11	BKA	(ブルーレイ)	KA	鎌倉	80	100	120	○
12	DKA	映画DVD	KA	鎌倉	100	(90)	70	
13	CKA	音楽CD	KA	(鎌倉)	90	100	90	
14								
15	種類別集計表							
16	(種類コード)	種類	2006年度	(2007年度)	2008年度			
17	B	ブルーレイ	230	270	320			
18	D	映画DVD	370	330	290			
19	C	音楽CD	(410)	390	380			
20								
21	支店別集計表							
22		支店コード	支店コード	支店コード				
23		AT	HR	KA				
24	(支店名)	厚木	平塚	鎌倉				
25	売上高合計	360	(350)	280				

注1

- 配点 (表の作成)
- ① ○ の箇所…………… 5点×12箇所=60点
注1 報告コード BHR が ○ で、DHR が空白であること。
 - ② 罫線…………… 5点 (支店別集計表の罫線が正確にできていればよい)



- 配点 (グラフの作成)
- の箇所…………… 5点×7箇所=35点
 - 左のグラフについて
 - 注2 軸ラベルは、方向、文字が正しく設定されていること。
 - 注3 数値軸目盛は、最小値が(200)および間隔(50)が正しく設定されていること。
 - 注4 凡例の位置および「種類」の並び順は問わない。
 - 注5 ブルーレイが3つのデータにマーカーの付けられた折れ線グラフになっていること。ただし、傾きは問わない。
 - 右のグラフについて
 - 注6 「支店名」の並び順があっていること。
 - 注7 集合縦棒グラフになっており、データラベルの値が(280)となっていること。
- 体裁は、アプリケーションによって異なるため、採点対象とはしない。
2つのグラフの配置(上下左右)は、採点の対象とはしない。

※ 審査にあたっては、「審査上の注意事項」をあわせて参照してください。